

令和6年度 学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析

分野	番号	質問事項	分析等
学習指導	1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。	生徒の肯定的な意見が8割を超えている。保護者の肯定的な意見が9割を超えている。生徒保護者の満足度は高く、さらによりよい授業を行えるような環境整備等を行っていききたい。
生徒指導	2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	保護者83%、生徒88%と共に高い数値であった。基本的なマナー等の指導を継続的に行っていく。
進路指導	3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	保護者81%、生徒93%と共に高い数値であった。進路面談や進路希望調査に即した三者面談を今後も継続して行い、保護者や生徒の進路目標の明確化を図っていく。
教育相談	4	生徒にとって、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	保護者94%、生徒96%と100%に近い数値であった。今後もSCやSSWを活用しながら、相談体制を整えていく
部活動	5	学校として、部活動は活発に行われている。	保護者81%、生徒88%と共に高い数値であった。生徒数の減少に伴い、今後の部活動の取り組みについて見直しを図っていく
生徒会活動	6	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	保護者91%、生徒85%と共に高い数値であった。今後も生徒会活動の充実を図っていく。
学校行事	7	自分にとって、有意義な学校行事がある。	保護者94%、生徒88%と共に高い数値であった。今後も学校行事の充実を図っていく。
特色ある学校作り	8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	保護者95%、生徒95%と共に高い数値であった。今後も地域や伝統などに根ざした学校づくりを行っていく。
防災	9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えられている。	保護者69%、生徒95%という結果であった。年間を通しての防災教育の成果が生徒には十分に伝わっている反面、保護者には取り組みが見えない部分も多い。今後は保護者や地域と連携した避難訓練等を行っていく。
開かれた学校	10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報を適切に伝えられている。	肯定的な意見が過半数以上を超えている。学校から連絡やお知らせ等は紙媒体が殆どで、保護者の手元にとどいていない可能性がある。メールやHPを活用してより学校の情報が届くよう整備していききたい。
いじめ対策	11	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	保護者88%、生徒83%と共に高い数値であった。定期的に行っているアンケート等を今後も実施しながら、いじめの早期発見につなげていく。
総合満足度	12	自分にとって、学校生活は充実している。	生徒・保護者の8割以上が学校生活に充実感を感じている。特に、生徒は昨年度に比べ肯定的な意見が10%以上増加している。教務発信部としては、生徒が充実した学習時間を過ごせるよう、よりよい学習環境を準備していききたい。生徒支援部としては学校行事やHR活動等を生徒主体の内容にしたり、体験活動を入れたりすることでより充実した学校生活につなげていききたい。進路キャリア形成部としては今後も生徒が安心して進路目標達成に向けた学校生活を送れるような支援等をしていききたい。
教育課程	13	学校として、スクールポリシーに基づいて教育課程が編成・実施されている。	生徒・保護者ともに8割を超え、昨年よりも向上している。通し番号6番の質問からカリキュラムポリシーにあるティームティーチングの授業に満足しているのではないかと推測される。ほかのスクールポリシーに対しても理解を深めさせていききたい。